

第3回中井町総合計画審議会議事録

日時	2015年12月16日(水) 15:00~18:00
出席者	資料参照、アルパック:2名 欠席:平井委員、金子委員
議題	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 町長あいさつ</p> <p>4 諮問</p> <p>第六次中井町総合計画基本構想について</p> <p>5 協議事項</p> <p>1) 第六次中井町総合計画基本構想(案)について</p> <p>2) その他</p> <p>6 その他</p> <p>1) 第六次中井町総合計画基本構想・前期基本計画イメージ案</p> <p>2) その他</p> <p>7 閉会</p>
議事	<p>●会長、○委員、◎事務局、◆町長</p> <p>1 開会</p> <p>◎権守企画課長より開会のあいさつ</p> <p>2 町長あいさつ</p> <p>◆杉山町長よりあいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>●諸坂会長よりあいさつ</p> <p>4 諮問</p> <p>・杉山町長より諸坂会長に対し第六次中井町総合計画基本構想について諮問</p> <p>5 協議事項</p> <p>協議事項1) 第六次中井町総合計画基本構想(案)について</p> <p>【序論についての資料説明】</p> <p>◎事務局より資料説明</p> <p>【序論についての協議】</p> <p>●パブコメにはかからないが、基本構想を町民が検討するにあたって基礎的資料となるもので、過不足がないか議論したいと思います。</p> <p>■地方創生総合戦略との関係について</p> <p>○将来人口に関して2060年や45年など年次が色々出てきますが、どういことでしょうか。</p> <p>また、第六次中井町総合計画に重点プランがありますが、中井町の財政について自主財源8割と言われますが、町民からのものと企業等からのものの比率はどうなっているのでしょうか。</p> <p>○財政については、税の資料には内訳が出ているので調べることはできると思う。</p> <p>○確か内訳までは掲載されてないように思います。言いたいことは、重点的に取り組む内容が、人</p>
事務局	
町長	
会長	
事務局	
会長	
芦田委員	
雑色委員	
芦田委員	

	口増加に重点を置くのか、企業誘致に重点を置くのかによってガラッと変わってくると考えるからです。
事務局	◎将来人口については2060年を目標としています。2015年から見ると45年後ということなのでそのように記述しています。
芦田委員	○「必要な人口規模」というのがわかりにくいと感じます。
雑色委員	○果たして人口の増減を行政でコントロールできるのか疑問です。自治体の取組の影響は1割か2割ぐらいしかないのではないのでしょうか。全国的に人口が減少する中で中井町だけが人口が増えることはありえないでしょう。10年後の人口目標を出しても実現することは不可能だと思います。
会長	●実現可能な数値を総合計画の目標としてしまうと、計画自体がこじんまりとしたものになってしまいます。100点を目標としなければ80点はとれません。ある程度高い目標を設定する必要があると思います。
雑色委員	○人口が減って何が悪いのかという議論が根本にあると思います。住んでいる人にとってはコンパクトで快適であるという見方もできますが、町外に出るには不便で人口を増やすには条件が悪いと思います。社人研の推計も見通しが甘いと感じます。もっと人口が減少すると考えて検討することが必要ではないか思います。
芦田委員	○町政を進めていく上で最低限必要な人数が何人という数字を持っていないと目標の設定ができないのではないかと。
雑色委員	○人口3,000人というところもあるのだから、やりようによってはどうとでもできるということだと思います。
芦田委員	○人口を増やすことを目的にする必要はないのではないかと感じます。
重田委員	○神奈川県でかつて人口の上限を800万人と設定し、住宅地が増え過ぎないように土地利用の規制などをしていました。しかし現在は900万人近くなっています。行政が人口をコントロールするのは無理だと思います。人口減少は全国的な問題で、人口が増えているのは東京から近くて交通の便がいいところだけです。川崎などがいい例で工場跡地に住宅ができて人口が増えています。
廣澤委員	○目標人口を社人研の推計人口に比べて400人増加としているが、人口増加といっても高齢者ばかりが増えてもそれを誰が支えるのかという問題になります。年齢構成のバランスが大切で若い人を増やすことが必要だと思います。
雑色委員	○行政は人口をコントロールできないというのは定説ではないかと思っています。
廣澤委員	○長野県の下條村では出生率を1.8まで上げている。行政ではできないというのは言い過ぎだと。
雑色委員	○そんなことはありません。県でも人口を800万人に抑えることができませんでした。町有地を無償で貸しますということにすれば増えるかもしれませんが、それで人口を増やしてどうするかと思います。
廣澤委員	○県が人口を800万人に抑えられなかった話と、これから中井町の人口が5,000人、6,000人に減ってしまうというのでは前提が違うと思います。
会長	●国家的なレベルと市町村レベルの話が混在してしまっているので話を整理しましょう。ひとまず行政が人口をコントロールできるかどうかという議論は置いておきたいと思います。 人口がただ減っていくことを容認するようて計画はつくることができません。町のレベルでは人口を増やす方向しかないということです。人口が多いということは町内での様々な需要が増えるということです。例えばバスの運行本数を増やすようにバス会社に働きかけるにしても、人口が増えていけばバス事業者も考慮する余地が大きくなります。人口が多い方が実現しやすいことが多くなります。人口を何人増やすべきなのかという議論については、とりあえず提案されている

	<p>程度の目標人口を掲げておいて、それにどれだけ近づけるかは、現実的な政策を実務的なレベルで議論していくことが必要ではないかと思えます。年齢でいえば当然若い世代を増やしていくことが必要となります。</p> <p>若い世代か、高齢者世代がという議論については、当然若い世代に入ってきていただくことが必要だと思えます。ただし、若い人が魅力的に感じる取組についてはもっと下のレベルの計画で位置づけることとなります。</p> <p>理念的な基本構想のレベルではこの程度の目標でいいのではないかと思えますがいかがでしょうか。</p>
重田委員	<p>○あくまでも目標値ということは理解できます。だれも目標を達成できるとは思ってないと思えます。そのために5年後には、どれだけ達成できたのかを評価して修正する機会があるので、この計画の中ではこれでいいのではないか。12,000人を目標にすれば、それに見合ったまちづくりを進めるということが言えることが重要だと思えます。</p>
雑色委員	<p>○12,000人というのは前の目標で、この計画では違うでしょう。</p>
事務局	<p>◎12,000人は、7ページの町民意向のこと。</p>
芦田委員	<p>○「必要な人口規模」とするという表現に問題があるように思えます。何をもって必要な人口規模とするのかという背景を持たなければ。</p>
会長	<p>●総合計画ではよくある表現ではある。逆に言うとかような表現しかできないという面があるということかと思えます。</p>
事務局	<p>◎将来人口については、総合計画とは別の「人口ビジョン」という計画を別途作っており、その中で検討しています。そちらでは総合計画の審議会とは別に戦略みらい会議という会議で議論しています。同時期に策定する計画で、それぞれが町の将来に関連する計画なので、その関係性を触れておいた方がいいのではないかとということで3頁はつくっています。</p>
芦田委員	<p>○これが公表されたとき、町民から質問された時に町としてどう答えるのかということなのです。</p>
事務局	<p>◎同時期に人口ビジョンについてもパブリックコメントにかけるので、町民のみなさんにはそちらを見ていただきたいということです。</p>
咲間委員	<p>○人口ビジョンについての説明が少なく、抽象的に見えてしまっています。別途概略資料などを巻末に付けるなりして、そちらをご覧くださいという一文をつけるのもありなのではないかと思えます。</p>
事務局	<p>◎人口ビジョンや総合戦略の説明はつけることはできますが、これはあくまでも総合計画の序論であるので全体のバランスからするとこの程度でおさめた方がいいのではないかと判断によるものです。</p>
芦田委員	<p>○目標人口や重点プラン、財政との関連性などの背景が整合していれば問題ないと思えますが。</p>
事務局	<p>◎人口は町にとって重要なファクターであるという認識からの議論だと受け止めています。</p>
雑色委員	<p>○今、芦田委員から目標人口と重点プランや財政との関連性という話が出ましたが、基本計画の中で目標人口を達成するための手段をどのように位置づけているのでしょうか。基本構想、基本計画、実施計画をセットで出してもらわないと議論ができません。</p>
会長	<p>●発想が逆なのだと思います。予算や事業から積み上げていくのではなく、まず目標を立てて、それを実現するためにどのような取組をするのかという論理構成で計画を作っているのだと思えます。</p>
雑色委員	<p>○実務的にいえば、議会では財源を問われるわけで、財政の裏付けのない絵に描いたような計画はやめてくれという議論になってしまいます。現実的に積み上げたものでないと計画として出せないのではないかと思えます。</p>
加藤委員	<p>○総合計画と総合戦略とはたまたま策定期間が重なって一体的に作っています。総合戦略では将来</p>

	<p>人口というものが大きな部分を占めている。総合計画を策定するにあたって、将来の町の人口規模というものも考えとしてもっていないといけない。そこで二つの計画で整合を図っています。総合総合戦略では、現実を踏まえた中でできるだけ人口を増やしていくという方向で落とし所を検討し、このままいくと9,000人まで減ってしまうが、なんとか400人を増やすということで10年後の目標人口を設定しているということです。それを前提として今回提示している基本構想案を作成しているということです。</p>
芦田委員	<p>○背景が整理され、基本計画・基本構想で整合が取ればいいが、それがなければ後で困ったことにならいかという心配をしているということです。</p>
雑色委員 事務局	<p>○400人増加させるための基本計画なり、実施計画の裏付けはあるのですか。</p> <p>◎総合戦略では400人を増やすための取組について現在検討しているところです。総合計画の基本計画はまだ検討していないので、総合戦略の取組が基本計画でどのように位置づけるかは今後の検討になりますが、その取組がないと400人の人口増は達成できないので、基本計画には必ず入ってくることになります。</p>
会長	<p>●目標を設定しないと、何をどうするかという計画を立てることができないということだと思います。</p>
雑色委員	<p>○人口を増やす努力をしますというのが正直なところで、何人増やすということは誰もいうことができないと思います。</p>
加藤委員	<p>○必ず9,400人にするというのではなく、9,400人を目指してがんばっていくというものであることはご理解いただきたいと思います。芦田委員がおっしゃった具体的な取組とリンクしているのかというのは大事なポイントだと思うので、その点には留意していきたく考えています。</p>
雑色委員 岸委員	<p>○できるかできないかはともかくとして目標を目指してとにかくやってみるということですね。</p> <p>○現状の人口が9,700人ぐらいなので、現実それをキープできるかという問題でしょう。</p>
加藤委員	<p>○黙っていても減ってしまうので、何とか現状を維持するために取り組んでいくということだと思います。</p>
雑色委員	<p>○ほとんど可能性がないのではないかと思います。</p>
小松委員	<p>○人口が減少するのは寂しいと感じます。</p>
廣澤委員	<p>○希望をもっていったほうがいいと思います。</p>
加藤委員	<p>○10年前に策定した現行計画では、右肩上がり人口が増えることが前提で、県との協議もどこで人口が増えるのかというものでした。総合計画の地方自治法上の策定義務はなくなりましたが、町としてみなさんと共通認識を持っている総合計画をつくっていくということでスタートしているので、人口をできる限り維持していくという共通認識を持っていただくことが大切だと思います。</p>
廣澤委員	<p>○子育て支援なども、少しでも人口の減少をくい止めようとして取り組むわけで、4,000人でいいという気持ちでやるのと9,000人を目指すのでは取り組む気持ちも違ってくる。税金を有効に活用するためにも高い目標を持っていた方がいいと思います。</p>
雑色委員	<p>○現実と目標とがあまりに乖離していると無駄が増えるのではないのでしょうか。最悪の場合も考えて現実と目標という二段構えで取り組むことが必要だと思います。</p>
廣澤委員	<p>○そういう意味では9,400人というのは決してオーバーな数字ではないと感じます。達成可能な目標ではないのでしょうか。</p>
会長	<p>●理念的な基本構想が絵空事にならないように、根の生えた基本計画・実施計画を策定してほしいという意見があったことを記録にとどめておいていただければと思います。</p>

芦田委員	<p>■時代潮流の変化について</p> <p>○テロなども頻発しており、安全安心が重要だという意見が大きくなっていて、自治会が重要視されています。そういう中で、自治会機能の維持や向上がテーマとして入ってくる必要があるのではないかと感じます。</p>
会長	<p>●直接的には書かれてはいますが、「⑥町民参加・協働」という場合、協働の対象として、自治会・町内会というものが含まれています。一個人と町ということもありますが、自治会・町内を通じて町と接点を持っていくということです。気になるということであれば、町内会自治会との協働、町内会・自治会の活性化ということをつけ加える形で修正することは可能だと思います。</p> <p>1点伺いたいのは、時代潮流の変化は中井町に限定した話ではなくて、全般的な話ということではないのでしょうか。そうだとするとここに書かれている順番は緊急性が高い順番ということなのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>◎6頁の「町の特性」と7頁の「町民意向」は対になるようにしています。また「時代潮流の変化」については、町の将来についての規定力の大きいものから並べているのですが、ここについても6頁、7頁の並びに近い順番で並べています。順番はいかようにもできるのですが、読んだときにわかりやすいように似た順番としているということです。</p>
芦田委員	<p>○④高度情報化社会の進展に関して、中井町全体を考えたときに日立情報や湘南ケーブルネットワークがありますが、そうした思惑があつての記述なのではないでしょうか。</p>
事務局	<p>◎全国的な潮流ということなので、中井町について記述しているわけではありません。</p>
咲間委員	<p>○全国的な動向の話であるなら、「町民」ではなく「住民」の方がいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>◎おっしゃるとおりなのでそのようにしたいと思います。</p>
岸委員	<p>○⑤雇用環境の変容に関して、今現在は非正規雇用者が増加しているが、今後人口減になった場合、労働力を確保するために正規雇用者が増えることも考えられ、将来的には必ずしもこうはいえなくなるのではないかと思います。また、人口減少社会での雇用の問題としては、定年の延長ということもあります。今の流れだけでなく将来のことを考えると判断が難しい。</p>
会長	<p>●将来的な展望を読み切れないところがあるので、現時点での認識としてはこれでいいのではないかと感じます。</p>
岸委員	<p>○これだけ人が減ってくると早急に動きがあるかもしれませんが。</p>
会長	<p>■中井町の特性と町民意向について</p> <p>●この順番でいいのかというのを再度確認したいのですがいかがでしょうか。</p>
小宮委員	<p>○中井町のいいところのプライオリティをあげるべきではないかと思います。そういう意味で他の自治体に比べても高い自治会の組織率を維持していきたいと考えているので、⑤を前にもってきてもいいのではないかと思います。</p>
会長	<p>●通常は課題として緊急性が高いものから順に挙げていくことが多く、すでにあるものを維持していくというのを上に位置づけるのはちょっと違和感があるように思います。喫緊の課題から挙げたいと思うのですが。</p>
小宮委員	<p>○実際に自治会活動をしていて、この2～3年が曲がり角だと感じています。今自治会活動をしている70歳代ぐらいの人が活動からリタイアされている。次の世代がとぎれとぎれになっていて繋がりが薄くなっています。そういう意味でプライオリティをあげるべきだと考えています。</p>
廣澤委員	<p>○自治会組織に入らない人が増えています。自治会活動と一緒に活動することで地域に愛着が生まれ、定住にもつながります。また、人口増加ということに関していえば、中井町では公共交通の利便性向上も緊急な課題だと思います。④と⑤は上でもいいのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>●それでは人口減少の問題と、生活に関係する交通の問題、コミュニティの再生の問題は人口増加</p>

	<p>という視点からワンセットとなりそうです。それらを上にして①、④、⑤、②、③の順としてはどうでしょうか。</p>
芦田委員	<p>○そこで問題になるのは税収の問題で、町民からの税収と企業等からの税収の比率はどうなっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>◎町税の合計が26億円程度で、そのうち法人税は5億弱となっています。</p>
芦田委員	<p>○今後、人口が減少していくのは確実なので、企業誘致を増やしていかないと財源が細っていきま す。企業誘致に重点をおく必要があるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>◎総合的に定住対策を考えるのであれば、当然企業誘致も考えていかないといけません。しかし、 それだけでなく、子育て支援なども含めて総合的にバランスよく取組をしていくことが必要だと 考えています。</p>
芦田委員	<p>○企業就業者のアンケート調査では、企業就業者の転入意向が高いとされています。そうした人た ちの転入を促していくことが定住増加の可能性が高いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>◎そのあたりの結果も踏まえて総合戦略での取組も考えていますし、それらは基本計画に盛り込ん でいくことになります。</p>
咲間委員	<p>○番号が付いていると若い番号の方が重要度が高いというように読み手にとられてしまう恐れがあ ります。番号は付けずに、町の特性と町民意向の対応関係だけわかるようにしておけばいいので はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>◎先程の説明が不十分だったので補足説明をすると、規定力が強いものを上位にしているというこ となのですが、6頁、7頁はまず人口問題の大きな話をして、次に環境、産業などの話を置き、 最後にコミュニティなどの話を持ってきて、開かれていくというか、支え合いなどによって希望 が見えてくるというストーリー展開にしています。6頁は中井町の良い点を中心にした特性につ いて、7頁はそれと関連した町民意向を紹介し、8頁以降が課題という構成になっています。</p>
会長	<p>●説明を聞くと理解できますが、一般的に見ると、町はこの順番で緊急性を捉えていると誤解され る恐れがあるように思います。</p>
小松委員	<p>○そうすると番号はやはり必要ないのではないかと思います。町の特性と町民意向が対応するよう に並んでいけばいいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>◎「人口」、「環境」、「産業」、「地域」などの見出しをそれぞれにつければ、町の特性と町民意向の 対応もわかりやすくなるのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>●そうしましょう。</p>
熊谷委員	<p>○2の時代潮流と3の中井町の特性と町民意向の部分は、章立ての話として、シームレスにした方 がいいのではないのでしょうか。各項目で、全国的な潮流があり、それに対する町の特性があり、 町民意向があるというようにすると分かりやすいと思います。</p>
会長	<p>●できるといいとは思いますが、時代潮流の部分と中井町の特性と町民意向の部分は完全に対応し ているわけではないので難しいように思いますが、事務局で検討してみてください。</p>
事務局	<p>◎検討させてください。</p>
	<p>■課題</p>
芦田委員	<p>○最近ふるさと納税が注目されていますが、中井町では大した特産品がなく、アピール力が弱いと 感じます。</p>
会長	<p>●基本構想に書き込むこととはちょっと違うと思います。もう少し下のレベルの計画で記述するよ うな話ではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>◎特産品やブランド化、PRなどの話は基本構想を受けた基本計画で出てくることになると思いま す。</p>

廣澤委員	○9頁の「(3) まちの魅力の向上」のなかで新たな魅力的な紹介の創出などが書かれているので、それに関連した取組として基本計画で盛り込んでいけばいいのではないのでしょうか。
小宮委員	○「③子育て、子育て環境の充実」に関して、中井町では中学生まで医療費無料を近隣に先駆けて取り組んできたが、それがいまひとつ定住にまではつながっていません。中井町は子育て世代の味方であるという面をもっと強調できるといいと感じたのですがどうでしょう。
会長	●ここは課題を記述しているので少し違うと思います。
雑色委員	○医療費を無料にしても人口増加にはつながらないということは、財政負担だけが増えるということになります。それをどう捉えるか。現状一生懸命やっていることではあるのだと思いますが。
小宮委員	○子育て支援という方針のもとに子育てを応援していることが課題ということになるのではないのでしょうか。お金の遣いみちのとして、ここに重点的に投資するということを示すことが必要なのではないかと思います。
会長	●「結婚から出産、子育てまでの切れ目のない支援づくり」という言葉に集約されているのではないのでしょうか。
小宮委員	○開成町は医療費助成に関してはそんなに良くはないがあれだけ子どもが増えて、学校も新設しています。
廣澤委員	○開成は駅ができたことが大きいのではないかと思います。その周辺にマンションが立ち並んで人口が増えているということだと思います。逆に言うと子育て支援として中井で実施していることよりもそうした利便性を高める取組の方が若い人は魅力を感じているということではないのでしょうか。
小松委員	○子育て支援として医療費の助成はその他の町でも色々やっています。それ以上の魅力があれば中井町に若い人が来るかもしれません。
小宮委員	○子どもの人口が増えて、医療費助成の財源が厳しくなったときでも、中学生の医療費助成をやめますという可能性がないようにしないといけないと思います。
小松委員	○子どもの人口が増えれば人口も増えて税収も増えるのではないのでしょうか。
雑色委員	○子育て環境の充実という中で読み込めばいいのではないのでしょうか。
会長	●ここで細かく書くのはどうかと思います。今のままの方がすっきりしていていいのではないのでしょうか。具体的な取組の話は繰り返しお話しているように、もう一つ下の段階の計画の中で検討すべきことだと思います。
咲間委員 事務局	○子育てはどこを指しているのでしょうか。使い慣れない言葉なのでわかりにくいと感じます。 ◎最近はおどもの主体性という視点から「子育て」は、子育てとセットで使われることが多くなっています。
咲間委員 事務局	○であれば「、」ではなく「・」で、子育て・子育てとした方がいいように思います。 ◎そのように修正したいと思います。
咲間委員	○9頁の合計特殊出生率のグラフは、ここにあると9頁の上の内容に関連したグラフと捉えられてしまいます。場所を変えた方がいいと思います。
会長	●(1) 定住人口の確保と交流人口の拡大の中の①～④の順番はこれでいいのでしょうか。定住意欲の次に「子育て」が来るような気がします。
小宮委員	○そう考えるとPRも緊急に取り組む必要があるのでは、上げたいです。
重田委員	○むしろ人口増減に一番大きな要因は交通などの利便性ではないかと思います。このままでいいと思います。
咲間委員 会長	○先程の町の特性と町民意向のように番号をつけないということもありなのではないのでしょうか。 ●これこそ喫緊の課題の順番で並べるべきだと思います。
重田委員	○交通利便性の話については、デマンドバスの活用ということで近隣の二宮町や秦野市とも協議を

	<p>しているということのようですし、秦野駅への乗り入れについても前向きに進めているという話も町長からありました。デマンドバスが駅までいっていないことが住民の一番の不満であることを考えるとやはり利便性の問題が上ではないでしょうか。</p>
芦田委員	○秦野駅への乗り入れは実際に可能なのでしょうか。運輸業界には様々な規制があると聞いています。
会長	●ここで実現可能性のことを話してもしかたないのでやめましょう。
芦田委員	○住民意向の広域比較のグラフについて、各市町村の年度が違うのはなぜなのでしょう。
事務局	◎各市町村が総合計画を策定する時に実施したアンケート調査を比較しているため、それぞれの実施時期が違ってしまっているということです。
雑色委員	○高齢者関係の医療や福祉に関するコメントがなくていいのでしょうか。現実問題としてお金を相当つぎ込んでいる分野だと思のですが。
芦田委員	○個人的な意見として高齢者よりも若い人に力をいれた方がいいと思います。
雑色委員	○実際問題として圧倒的にお金がかかっているのは高齢者で、これに言及する必要はないのかということ。
重田委員	○高齢化率がどんどん上がっていく中で、ここに何も触れていなくてもいいのかとは確かに思います。
雑色委員	○地域で支え合うという精神論だけではすまない。医療対策を講じていかないといけないので。
事務局	◎講じていくとまたお金がかかると思うのですが。
会長	●ここは課題なので、町の課題として入れる必要があるのかどうかということだと思います。
雑色委員	○お金が相当かかっているというのは課題なのではないのでしょうか。それに対応するための財政構造をどうするのかというところまで踏み込まないといけないのではないかと。福祉・医療体制を守りますというような表現を入れておく必要があるのではないのでしょうか。
城所委員	○高齢者の増加は必然なのでそれが課題になるのでしょうか。
会長	●将来的に足りないところを着込まないといかないといけないと思います。高齢者の問題は現実路線の見直しという意味では課題かもしれませんが。
城所委員	○ここでの課題は、現状からさらに延ばしていきたい部分や、現状では足りていないところを書くべきものではないのでしょうか。現在かかっているお金の多寡だけでの問題ではないと思います。
雑色委員	○そういう認識がないとことであれば、あえて記述する必要はないと思いますが。
咲間委員	○例えば将来的に介護の質がものすごく下がってしまうとか、担い手がものすごく減ってしまうというリスクがあるなら書き込む必要があると思いますが。
重田委員	○現実として介護保険料はとられていて、今後介護が必要な人は増えていく。そのときにここに記載されていないのに毎年ものすごい介護保険料がとられるという状況になってしまうことに問題はないのでしょうか。
会長	●ここに書いていないことは何もできないということではありません。そういう意味ではここでは障害者福祉のことも何も書いていません。でもそれは当然やっていくわけです。そうでないところですべてのことを書き込まなければいけなくなってしまいます。
雑色委員	○意識の問題として、高齢者対策について支え合えばいいということではないと思います。今後、介護保険料も医療費も莫大な額をかけないといけなくなります。それが瑣末なことということであればしかたないですが。
会長	●瑣末だと言っているわけではなく、特に喫緊の課題について明確にしているということでしょう。
芦田委員	○「(5) 協働によるまちづくりの推進」の最初の文章の「比較的高い」とは何をさしているのでしょうか。
事務局	◎これは住民のまちづくりへの参加意欲のことを指していますが、わかりにくいことと、「比較的」

	<p>という表現が適当でないため修正したいと思います。</p> <p>【基本構想についての資料説明】</p>
事務局	◎事務局より資料説明
	<p>【基本構想についての協議】</p> <p>■基本理念について</p>
会長	●前回提示されたたたき台案と比べると、これまでの意見を踏まえて修正されているイメージがあります。基本理念も審議会での意見を踏まえてすっきりしているように思います。
廣澤委員	○上から6行目に「地震や風水害、噴火など」とありますが、箱根はありますが「噴火」はなくてもいいのではないかと思います。
事務局	◎前回お示したたたき台案では「東日本大震災を踏まえて」ということで記述していましたが、必ずしもそれだけではないですし、最近頻発しているの豪雨や風水害もあるので、全般的な災害の話として記述している面があります。
廣澤委員	○富士山、箱根の大規模噴火は近々では考えにくいという状況なのでどうかと思いましたがそうであればいいと思います。
加藤委員	○12月5日（土）に富士山噴火を想定した訓練をしています。そうしたことも想定していかないといけないということでこうした表現をしているとご理解ください。
廣澤委員	○技術的には色々難しいですが、関東ローム層の大半は箱根山の噴火のものということもあります。書かれている意図については理解できました。
咲間委員	○「活力」、「快適」、「安心」の3つが輪になっている図の下の文章の中で、「基本理念が関連し」という言葉があるが、「関連」という単語はあるのでしょうか。
雑色委員	○「産業関連」という言葉もありますし、一般的に使われる言葉だと思います。
	<p>■将来像について</p>
芦田委員	○イメージイラストを挿入と書かれている部分で、中央公園に「カフェテラス付きレストハウス」とあるが、これは特区の認定を受けることを前提としているのでしょうか。
事務局	◎あくまでも、例えばということで書いているものです。
芦田委員	○将来の夢としてはありがたいが、そういうことを考えていくということなののでしょうか。
事務局	◎そういうわけではありません。
重田委員	○特区の認定を受けなくても、カフェテラスの整備は現行法の中でもまるっきり無理と言う訳ではないと思います。公園面積の何パーセントという制約はありますが、可能性としてはあると思います。
芦田委員	○できるといいと思います。大勢いる町外からの利用者がお金を落してくれる場所があるといいと思います。
熊谷委員	○「ヒト」、「コト」、「モノ」という言葉がしっくりきません。「ヒト」はわかりませんが、自然環境と中央公園を「モノ」、グリーンテクや企業を「コト」としているのがひっかかるのですがみなさんはどうでしょうか。
事務局	◎あえて入れる必要がないというご意見もわかりますが、これは13頁の基本方針の中の「拠点・交流」の説明文の中で使っている「ヒト」、「コト」、「モノ」を具体的に説明するために入れたという経緯があります。括弧内の部分は削除してしまってもおかしくないとは思いますが。
熊谷委員	○13頁に出てくる「ヒト」、「コト」、「モノ」もあえて使わない方がいいのではないかと思います。「活動」、「働き」、「環境」などの言葉でもいいのではないかという気がします。最近、二言で表現することが増えているように思いますが、無理をして使わなくてもいいように感じます。

雑色委員 事務局	○確かに「モノ」はひっかかります。「モノ」が交流するというはよく分からない。 ◎まさに今おっしゃられたようなことにこだわっているということなのです。交流というと人と人の交流がイメージされますが、出来事と出来事がつながっていくとか、モノとモノのやり取りということも「交流」として膨らんでいくことができるというイメージを持っていただきたくてあえてそうした表現にしているということです。12頁の記述については、例示がふさわしいのかという議論はあるとは思いますが。わかりにくいということであればあえて入れる必要はないかもしれません。
雑色委員	○パブリックコメントに出して何も意見が出されなければそのままとするということもあるのではないのでしょうか。間違っているわけではないからこのままでもいいという意見もあると思います。
熊谷委員	○私が違和感を感じたということで、他の人が感じないということであればそのままでもいいと思います。
重田委員 会長	○企業サイドから自分たちは「コト」か、という意見がでるかもしれませんね。 ●「集積」という言葉の方が難しいのではないのでしょうか。
芦田委員	○12頁については削除して13頁だけ残すというではどうでしょうか。
雑色委員	○それだとわかりにくくなるのではないかと。最初に言葉の定義があった方がいいと思います。
熊谷委員 会長	○そんなにこだわりがあるわけではないのでそのままでもいいと思います。 ●それではここはそのままとしたいと思います。
	■将来都市構造について
雑色委員 事務局	○将来都市構造の図面には道路の構想路線も入っているのでしょうか。 ◎構想路線は入っていません。
雑色委員 会長	○「3つの新たな拠点を整備」と書かれていますが、基本計画・実施計画でもしっかりと位置づけてほしいと思います。 ●文章では「中井中央公園を含む3つの新たな拠点」と書かれていますが、図をみると拠点は4つあるように見えます。「4つの新たな拠点」としたらどうでしょう。
重田委員	○中央公園はすでにありますが、今後、何か整備していく計画があるということでしょうか。また、諏訪地区と、砂利採取場も中心拠点と同じ赤い枠で囲えば3つになるのではないのでしょうか。
雑色委員	○中央公園は別の凡例とすれば、文章は直す必要はないのではないのでしょうか。
加藤委員	○みなさんの意見は事務局に伝わっていると思うので修正していただければいいのではないのでしょうか。
廣澤委員	○役場脇の比奈窪バイパスが開通したが、大型車の通行量は増えているのでしょうか。
加藤委員	○大きくは変わっていないと思います。
廣澤委員	○なぜそうしたことを申したかという、物流の流れなどを考えると、松田に抜ける県道の先の方まで市街地ゾーンを広げたらどうかと思うからです。
重田委員	○かつて都市マスタープランを策定した時にもそうした話はでていませんでした。また、人口増を前提としたとしても現在の市街化区域で十分対応できて、市街化区域の拡大の余地はないという結論になっています。立地的にはインターチェンジ周辺を活用したのまちづくり、住宅系ではなくて産業系の土地利用が必要ということで計画しています。そこを変えらるとなると都市マスタープランも見直すことが必要となり、ちょっと違うと感じます。
会長	●図面の文字をもう少し大きくしていただけるといいと思います。
咲間委員 事務局	○拠点部分の文字は他より大きくした方がいいと思います。 ◎凡例の文字も含めて対応したいと思います。
加藤委員	○基本方針とまちづくりの進め方の図が似ており、混同しやすいという気がします。

会長 小宮委員	●確かに似たような図なので、関係性がわかりにくいという面があるかもしれません。 ○15頁の「まちづくりの進め方1」で、「話し合いを通じて」とありますが、相互理解を深めるのは、一緒に体を動かしたりすることもあり、話し合いだけではないように思いますので表現を変えた方がいいと思います。
小松委員	○「話し合いを通じて」という部分を削除したらいいのではないのでしょうか。
廣澤委員	○「相互理解を深め」という部分を「活力をあるまちづくり」の前に入れた方がわかりやすいのではないのでしょうか。
事務局 会長	◎そのように修正したいと思います。 ●先程の基本方針とまちづくりの進め方の図について、まちづくりの進め方の図の中に、小さくてもいいので基本方針の「拠点・交流」、「自然・移動」、「地域・共助」も再掲で入れると関係性がわかりやすくなるのではないのでしょうか。
事務局	◎そのように修正したいと思います。 まちづくりの方針については、前回お示ししたものでは、基本理念とまちづくりの進め方の3つが一对一对応になっていたものを、幹事会でのそれぞれがそれぞれに関係するという意見を受けて、枠で囲うように変更しています。また、まちづくりの進め方の3つある「・」で結ばれた2つの単語からなるフレーズについては、左側の「参加」、「創造」、「対話」は行動を、右側の「協働」、「共有」、「共感」は行動による成果を示しています。そうした形にするために前回お示したもののから単語を入れ換えたり、変更したりしています。
会長 事務局	●間の「・」は「→」でもいいように思いますがどうでしょう。 ◎例えば、参加を通じて協働が生まれ、協働を通じてさらに参加が広がるというように、左から右の一方通行ではなく、左から右の方向もあると考えています。
会長 雑色委員	●ではそのままとしましょう。 ○パブリックコメントの対象になるのは「Ⅱ 基本構想」の部分のみということですが、その後に基本計画をリンクさせていかないとお話だけになってしまいます。そのあたりはきんちとやっていただきたいと思います。
事務局	◎今後12月24日からパブリックコメントにかけるわけですが、本日のご意見に基づく修正については、てにをは的な修正は事務局におまかせいただくとして、大きな修正については、諸坂会長にご確認いただくということでよろしいのでしょうか。
全員	(全員意義なし)
事務局	6 その他 1) 第六次中井町総合計画基本構想・前期基本計画イメージ案 ◎最終的な計画書のイメージということでお示ししています。あくまでも参考ということでご覧いただければと思います。
事務局	2) その他 【今後の手続きについて】 ◎今日のご意見を踏まえて修正をし、会長に確認のうえ、12月24日から1月14日までパブリックコメントにかける予定です。パブリックコメントで出された意見については町の考え方を示します。第4回審議会開催前には、町民からの意見と町の考え方を整理して委員のみなさんにお示ししたいと考えています。 【次回開催日程】 ・次回第4回審議会：2月中旬を予定。日程調整のうえ、各委員に開催通知を郵送。